

導入する設備ごとに本紙を作成する

G.省エネ設備

入力する数値に関しては、必要に応じて計算ファイル内
ることとする。

「区分」欄:「新設」「増設」に係らず、本欄は「入れ替え」を選択すること。
「従来機器・システム名称」欄:低炭素・脱炭素化を実施する前の比較
となる設備を記入する。

事業者名

設置場所

区分 施設の新設、または設備の入れ替えではない場合は「新設」、機器・システムの入れ替えの場合には「入れ替え」を選択してください。

従来機器・システム名称

導入する機器・システム名称

導入量 単位 その他の場合 記入してください(その他の場合)

導入する機器・システムおよび、その比較対象とする
従来の機器・システムの名称を記載してください。
※ 施設の新設、または機器・システムの入れ替えでは
ない場合は、記載する必要ありません。機器・システム
が複数ある場合は、計算ファイルを複数に分けてください。

補助対象となる機器・システムの「導入量」を記入し、横のセルに「単位」をプルダウンから選択してください。単位の回答は選択式となっていますが、選択項目に適切な単位がない場合、「その他」を選択し、右側の入力欄に手入力で単位を記入してください。

法定耐用年数 [年]

国税庁が発表している耐用年数表を参考にして、法定耐用年数を整数で記入してください。不明である場合は、想定使用年数を記入し、右の選択肢において「想定使用年数を記入」を選択してください。

導入量当たりのCO2削減量(CO2削減原単位)

事業開始前のベースラインとなる年間
エネルギー消費量を記載してください。

エネルギー 種別	年間エネルギー消費量			排出係数	年間CO2削減量		年間CO2削減原単位		
	導入前	導入後	単位		kgCO2/年	kgCO2/年/XX			
商用電力	0	0	kWh/年	0.579	kgCO2/kWh	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
都市ガス	0.00	0.00	Nm ³ /年	2.23	kgCO2/Nm ³	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
一般炭	0.00	0.00	kg/年	2.33	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
LPG(重量ベース)	0.00	0.00	kg/年	3.00	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
LPG(体積ベース)	0.00	0.00	m ³ /年	6.55	kgCO2/m ³	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
LNG	0.00	0.00	kg/年	2.70	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
灯油	0.00	0.00	L/年	2.49	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
A重油	0.00	0.00	L/年	2.71	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
C重油	0.00	0.00	L/年	3.00	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
ガソリン	0.00	0.00	L/年	2.32	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
軽油	0.00	0.00	L/年	2.58	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
ジェット燃料	0.00	0.00	L/年	2.46	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
水素	0.00	0.00	Nm ³ /年	0.00	kgCO2/Nm ³	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
その他1	0.00	0.00	●/年	0.00	kgCO2/●	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX
その他2	0.00	0.00	●/年	0.00	kgCO2/●	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/XX

削減原単位[kgCO2/年/記入してください]
所定のエネルギー種別以外のエネルギーを使用している場合は、削減係数を記入
してください。水素については、初期値は0として入力してください。

【設定根拠】に係る欄は、詳細を別紙に記載してその内容に基づき
本表へ概要を記載しても良い。その場合は、別紙を提出し、その書
類を参照する旨の記事を本表に記載すること。

稼働負荷・活動量 (詳細は別紙参照)

稼働負荷・活動量の
設定根拠 (詳細は別紙参照)

導入前後における機器・システムの業
務負荷・活動量(稼働時間、稼働率
等)と設定根拠を記載してください。

導入前の年間エネルギー消費量の算出方法を「従来設備・施設の実測データ」、「従来設備・施設
能力より推計」、「仮想設備(現在の平均的な販売設備)の性能
より推計」より選択してください。なお、施設全体の電力量から按分している場合、「従来設備・施設
の実測データ」を選択してください。

従来 設備	エネルギー消費量の 算出方法	選択してください
	性能 性能値の 設定根拠・引用元	〇〇〇〇〇 (詳細は別紙参照) 例1)〇×会社のカタログより 例2)〇△協会のホームページより
導入 設備	エネルギー消費量の 算出方法	選択してください
	性能 性能値の 設定根拠・引用元	△△△△△ (詳細は別紙参照) 例1)〇×会社のカタログより 例2)〇△協会のホームページより

従来の機器・システムの性能とエネル
ギー消費量の設定根拠・引用元を記
載してください。「エネルギー消費量の
算出方法」において、「従来設備・施設
の実測データ」を選択した場合、「エネ
ルギー消費量の設定根拠・引用元」を
記載する必要はありません。

この値を【別紙1-2-2】
＜事業の効果＞に転
記する。

年間CO2削減量	0	[kgCO2/年]	=	年間CO2削減量	0.00	[tCO2/年]
累計CO2削減量	0	[kgCO2]	=	累計CO2削減量	0.00	[tCO2]

事務局確認用

従来のエネルギー消費量の算出方法

法定耐用年数

区分